

PROGRESS

～前進～

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒



「基本的生活習慣」を
身につけよう（再確認）
<5月・6月>

1・3年生も、大きな行事が控えています。
前向きさ・素直さ・・・心の持ち方を大事に、ぜひともいい物を作り上げてほしいなと思
います。
自分勝手な解釈や、自分の思いばかりを表現しようとすることは、もう卒業・・・周りの
ことも考えることができる、広い気持ちを持ちたいですね。

【集団の力】～2年生の宿泊訓練で感じたこと 「よい空気感」の大切さ～

今週日曜日・月曜日に行われた、2年生の宿泊訓練に帯同させていただきました。先生（桐山）は、一度も（変な意味での）緊張感を感じることなく過ごされました。ありがとうございました。

詳しい振り返りは、2年生の学年通信にお任せするとして、先生（桐山）が感じたことを一つだけ紹介します。

それは、**「【集団の力】の大きさ」**です。2日間を通して、非常によい空気感がただよう時間が流れました。これは、生徒の皆さんどうし、また生徒の皆さんと先生方、それぞれの「信頼感」があったからではないでしょうか。細かいことを言えば、指導されることや、不本意に思ったことがあったかもしれません。しかし、**「学年全体の「よい空気感」が、ちょっとマイナスの方向に向きかけた心をもプラスに向け直し、色々な活動を、みんなで一所懸命・前向きに取り組むことができる原動力になったような気がします。」**



現代社会では、「個性」とか「自由さ」が大事にされてきているように思います。それを否定するつもりは全くありませんが、「学校」は「一つの社会（集団）」なので、「個」よりも「全体」が優先される場面は、山ほどありますし、絶対に優先されるべきだと先生（桐山）は考えています。

「自分のやりたいことや感覚だけを主張すると、集団としては全く機能せず、誰も得をしません・・・」

例えば、ルールに反する行動があったとする・・・それを見ている周りの人は、いい気はしない・・・先生たちは、注意をするのでいい気はしない・・・当の本人は、指導されていい気はしない・・・結局、いい思いをする人は「ゼロ」なのです。

「集団生活のルールは80%の楽しさと20%の我慢」
いつも言い続けていることですね。集団として、意識してくれたのかな・・・と感じます。

**「時間は有限」「学校の時間は【みんなの】時間」・・・
正当な理由のない遅刻をゼロに・・・**

誤解のないように言っておきますが、朝の遅刻については、「何が何でも絶対遅刻をするな」と言っているわけではありません。体調不良や、その他の理由で、遅刻せざるを得ない時もあるでしょう。ただ、「連絡をきちんとしなさい」と言っているのです。無断で、何の連絡もなく遅刻をするということが、一般社会で許されるはずがない。そういった手順も踏まずに、好き勝手に行動する癖をつけてはいけません・・・ということです。

「そんな人が、そんなにたくさんいるのですか？」と不思議に思われる保護者の方もいらっしゃるかもしれませんが、そんなにたくさんいるのが現状です。各学年で、様々な指導を続けています。

このことについては、保護者の皆様の協力が不可欠です。
引き続き、ご家庭での生活指導に、ご協力をお願いします。



昨日は、非常に激しい雨風のため、6時間目を途中で切り上げて、部活動も中止とし、一斉下校を行いました。

皆さんの下校時刻には、傘をさすのが困難なくらいの強い風も吹き、大変危険な状態での下校となりました。2年生が代休でいなかったとは言え、かなりの人数が門から出てきます。正門では、先生（桐山）と3年の奥野先生とで、下校指導を行っていました。

そんな中、ある3年生の人が、「先生、ビチャビチャになるのに中に入らないんですか？」「ありがとうございます、さようなら！」と声をかけてくれました。会話としては、非常に一瞬の出来事でしたが、心は大変ホットになりました。

昨日だけでなく、朝の登校時・夕方の下校時には、言わば「当たり前」のように門に立っているわけなのですが、特に昨日のような悪天候の時に、自分が帰るのにもやっとのことなのに、先生たちを気遣う声をかけてくれたこと・・・とてもうれしいことでした。心が育ってきているなあ、と感じるとともに、東中全体に広げたい「空気感」でした。

ちょっといい話